

(大阪ミュージアム地域魅力発信事業について)

Q 1 大阪ミュージアム地域魅力発信事業について伺う。本事業については、9月議会の際に府内魅力スポットを紹介した冊子「とっておきOSAKA周遊ガイド」を関西一円に配布するとともに、パワースポットなど地域の魅力スポットを巡る「新春ご利益ウォーク」や、冊子に掲載のスポットに感想や写真を投稿していただくと抽選でプレゼントがあたる懸賞企画「行って良かった総選挙」を実施されると答弁をいただいた。この「新春ご利益ウォーク」には私も参加させていただいたが、遠方含め府外からの参加者も多く、大阪の魅力を感じていただけたと思う。

大阪の魅力を知ってもらうためには、情報発信するだけでなく、実際に巡ってもらうことが必要だと感じているが、これらの事業の内容と評価について伺う。

(答弁：魅力づくり推進課長)

A 1

- 大阪の魅力を知ってもらうためには、情報発信するだけでなく実際に訪れていただくことが大切であり、そのきっかけづくりとして、委員お示しの「新春ご利益ウォーク」と「行って良かった総選挙」を実施した。
- 「新春ご利益ウォーク」については、府内外から805名の方の参加のもと、本年1月21日に開催。今年度は北河内地域の歴史・文化にスポットをあて、大東市の御領(ごりょう)の水路や門真市の三島(みつしま)神社、寝屋川市の萱島(かやしま)神社などをめぐるコースを歩いていただいた。
- 本イベントには、観光ボランティアや地域団体の協力をいただき、立ち寄りスポットでの解説やゴール地点での太鼓囃子でのお出迎えなどを行ったところ、「地域の方のおもてなしが良かった」「地元の新たな発見があった」といったご意見があり、アンケート結果では90%を超える方に良かった、まあまあ良かったとの評価をいただいた。
- また、「行って良かった総選挙」については、6,034人の参加をいただき、両事業あわせて、目標である3,000人を上回っており、府域を訪れていただくきっかけづくりとしての目的は達成できたものと考えている。
- 引き続き、地域の方々と連携しながら、地域資源の魅力発信および集客のための取組みに努めてまいります。

(大阪ストーリープロジェクトの今後の展開について)

Q2 ウォーキングイベントでは、大東市の御領の水路に、保存会の方が田舟を浮かべたり、菅原神社ではだんじり囃子が実演されるなど、地域の熱意が伝わる事業であったと思う。また、もずやんを始め、地元市のキャラクターが登場したり、万博誘致にかかる署名活動を行ったところ大勢の方にご協力いただくなど、大阪府にとっても実りの多いイベントだったと思う。今後とも、地域の方々を主役に、「魅力的な地域資源を発掘・再発見し、磨き・際立たせ、結びつけることにより大阪のまちの魅力を発信する」というミュージアムの理念のもと、取組みを続けていきたい。

一方、先ほど別の委員からも質問があったが、今年度から、宿泊税を活用し、旅行者を府域に周遊させる取組みとして、「大阪ストーリープロジェクト事業」を実施されており、本年度は4ストーリーを創出する見込みとのこと。大阪ストーリープロジェクト事業において、創出したストーリーを今後どのように情報発信し、誘客につなげていくのか、伺う。

(答弁：魅力づくり推進課長)

A2

- 今年度、大阪ストーリープロジェクト事業においては、楠木正成や恋人の聖地にまつわるストーリーなどを創出するところだが、府域への誘客につなげるためには、ストーリーを磨き上げ、内外に発信することが重要だと認識している。
- そのため現在、市町村等と共同で地域特性やターゲット、旅行者ニーズを意識した観光コースの設定を行っているところであり、今後、市町村等が行うプロモーション活動と連携しながら、想定するターゲットに対し、効果的に情報発信していく。
- また、こうした観光コースの設定とあわせて、先ほどご答弁させていただいた大阪ミュージアム地域魅力発信事業において、創出した観光コースについて民間事業者から広報媒体や配架場所等について提案いただき、効果的な情報発信に努めるとともに、府外からも多くの方に参加していただける工夫をした誘客事業を展開していく。
- こうした取組みを通じて、大阪の魅力を広く発信するとともに、府外から多くの方に訪問いただけるよう、取組みを進めてまいります。